

## 新年度へ向け、市議団として予算要望書提出

市の新年度予算編成へ向け、公明党市議団として予算要望書を提出しました。ポストコロナを目指した対策を中心に、春日部駅周辺連続立体化交差事業と周辺地域、武里団地地域、北春日部駅西口地域、庄和インター付近、豊野地域などの再開発と企業誘致、タクシーやバスのクーポン発行、総合運動競技場建設、感染症拡大防止策を含む災害対策、浸水対策など191項目の内容です。



## 夏季議員研修会に参加しました

山口那津男党代表を中心に、埼玉県本部主催の夏季議員研修会が開催されました。党勢拡大に向けて「大衆と共に、との立党精神のもと、全議員が先頭に立ち、一致結束し前進を開始しよう」と呼びかけました。



公明党では無料の法律相談を行っております。  
お申し込み、その他ご相談・ご要望は

**くりばら** まで  
電話は **090-3476-6526**



小さな声を、聴く力。公明党

春日部市議会議員くりばら信司



**くりばら** 通信



先日、公明党全国大会が開催され、山口那津男参議院議員が党代表として再任されました。同じく埼玉県本部大会が開催され、西田実仁参議院議員が県本部代表として再任されました。また、春日部総支部大会が開催され、権守幸男県議会議員が総支部長として再任されました。今再びの党勢拡大に向け、権守総支部長を中心に、5市2町23名の議員団は、心1つに団結して、全力で働いて参ります。今後とも変わらぬご支援を宜しくお願いします。

# 令和2年9月度 定例議会における 一般質問より

●災害対策として、浸水被害想定の見直しでハザードマップを速やかに改訂すべき。戸別受信機の配布。ミストシャワーについて。

Q：年々、過去の記録を塗り替える想定外の浸水被害が発生する中、浸水被害想定の見直しとそれに基づくハザードマップの速やかな改訂や、関連して防災行政無線が聞き取れない場合の対策強化として戸別受信機の全戸配布や災害に匹敵する猛暑対策としてのミストシャワーの導入を推進すべきと訴えました。

A：浸水区域の見直しは多く、ハザードマップが日々更新されることで、新旧入り混ざり、混乱が予想されます。まずは、市の公式サイト上で更新します。

また、戸別受信機については国の動向を注視し、まずはスマホのアプリの活用を図ります。

また、ミストシャワーについては前向きに取り組めます。



●子育て支援として、キッズゾーンの導入と障がいを抱えるお子様が雨の日でも遊べる施設について

Q：昨年の大津市の保育園児らの交通事故を受け、国はキッズゾーンの導入を決めました。春日部では八木崎駅前の子育て支援複合施設が完成目前であり、その周辺を始め園児などの命を交通事故から守るために、子育て支援施設周辺にはキッズゾーンを設定すべきではと訴えました。

また、障がいのあるなしに関係なく、雨の日でも自由にノビノビと遊べる施設を検討すべきと訴えました。

A：キッズゾーンの導入は前向きに検討したい。また、障がいのあるなしに関わらず子ども達が楽しく遊べるように現有の児童館などを中心に市として見守っていきます。



●新型コロナウイルス感染症の感染防止策として、市としてのガイドラインの作成と徹底。企業内休憩所などでの感染防止対策。

Q：新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、国としては、業者別にガイドラインを定め、実施を求めているものの、事業所によっては徹底が不十分との声がありました。そこで強制力はなくとも何か基準を設けるべきでは、と訴えました。

また、小中学校では感染拡大防止のために窓を開けて換気を行いながらエアコンを点けていることから、感染症の媒体となる虫や、狂暴なスズメバチなどが侵入してくるのも心配です。そこで教室の窓に網戸などを設置すべきでは、訴えました。

A：業種別の状況が異なることから統一的なガイドラインの作成、徹底は難しい。国や県の指針を遵守してほしい。従業員などからガイドラインの不徹底などの相談があった場合には県の相談センターを紹介してます。

また、網戸に関しましては、現在の小中学校の窓の形状と安全性の観点などから、網戸の設置は難しいです。

